単方向リモコンエンジンスターター&ターボタイマー　取扱説明書／保証書

SR100

BeTime

この度はリモコンエンジンスターターをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び操作手順が説明されております。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。また、読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

本書の見かた

⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。

目　次

ご使用上の注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- アンテナ / メインユニット ・・・・・・・・・・・・・・・4
- リモコン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- 梱包内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

取付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 取付け上の注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- コネクター接続、アンテナユニットの固定方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
- 初期設定および動作確認 ・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 初期設定および動作確認対処方法 ・・・・・・・ 16
- 12P コネクターの接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- フットブレーキ配線 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- L 端子配線・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- 「弊社別売セキュリティシステム」連動について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
- ワイヤレスドアロック機能について ・・・・・ 26
- カーテシ検出による安全機能 ・・・・・・・・・・・ 31
- イモビ対応アダプターの取付け ・・・・・・・・・ 33
- Pポジション検出線接続について ・・・・・・・ 33
- メインユニットの固定方法 ・・・・・・・・・・・・ 34
- 動作不良エラー確認表 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 36

リモコンの使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
- エンジンを始動させる ・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
- エンジンを停止させる ・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
- ワイヤレスドアロック機能の使用方法 ・・・ 40
- オートロック機能について（初期設定は設定 OFF） ・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
- 電波特性（電波飛距離について） ・・・・・・・ 42
- 電池交換のしかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43

機能設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
- ファンクションスイッチ設定について ・・・ 44
- リモコンスイッチでの各種設定内容の変更方法について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
- ターボタイマーについて（初期設定は設定 OFF） ・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
- セル時間（セルストップ方式、セル延長時間、セルストップ時間）の設定について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51

付録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
- オプションについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
- 運転するには ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
- スリープ機能について ・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
- リモコンの ID コードを再登録する ・・・・・・ 55
- リモコンを追加登録する ・・・・・・・・・・・・・・ 57
- 故障かな？と思ったら ・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
- アフターサービスについて ・・・・・・・・・・・・ 62
- 製品仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63

保証規定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66

SR100 保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**裏面**

COMTEC

P-Ver.1 215001

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じる、または想定される内容を「警告」･「注意」の２つに分けています。

⚠ 警告　**警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。**

⚠ 注意　**注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。**

⚠ 警告

- メインユニットハーネスと車種別専用ハーネスに必ず市販の絶縁テープを巻いて保護してください。各種ハーネスと車両金属部が接触してショートし、メインユニットの故障、車両ヒューズ切れなどの本体の動作不良になる恐れがあります。また絶縁テープを巻いた各種ハーネスをダッシュボード内（コラムカバー内等）へ収納する際､狭いスペースの為、各種ハーネスと車両金属部が接触してショートしないようにしっかりと固定し十分に気をつけて取付けを行ってください。車両金属部の接触によるショートが原因の本体動作不良または車両や車載品の故障、事故等の付随的損害については弊社では一切責任を負いません。
- 排気ガス中毒の危険性がある換気の悪い車庫や屋内での使用はしないでください。
- ボディカバーを掛けたままの使用はしないでください。
- 火災の危険性がある、燃えやすい物の近くでは使用しないでください。
- 暴走事故を防止するため、キーを OFF にする時は AT シフトレバーを P（パーキング）に入れ、パーキングブレーキを確実にかけてから行ってください。特に、日産 AT 車で Be-2500(キーロックリレーアダプター) を装着した車は、P（パーキング）以外でもキーを抜くことができるため、必ず操作方法を守ってください。
- アイドリングの直後や本製品作動中にエンジン点検等を行うと、火傷をする恐れがありますので、エンジンルーム内を充分に冷ましてから行ってください。
- お子様やペットを車に乗せたままでは、絶対に使用しないでください。
- リモコンはお子様の手の届かない場所に大切に保管してください。
- マニュアルミッション車には本製品を取付けしないでください。事故になる危険性があります。
- 一部の車両で本製品をつけることによりターボタイマー使用時にシフトレバーが P（パーキング）、N（ニュートラル）位置以外でキーが OFF まで回りキーが抜けてしまい、車両が動きだしてしまう可能性があります。その場合、オプション Be-963(カーテシ線・P ポジション線兼用）または Be-973（シフト検出アダプター）等が必要になる場合があります。また､エンジンを止める時は必ずシフトレバーが P（パーキング）の位置にあることを確認してからエンジンを止め、キーを抜いてください。

⚠ 注意

●本製品は日本国内のみ使用できます。海外では使用しないでください。

●リモコンのケースやアンテナを手等で包み込むと電波の飛距離が短くなります。

●ターボタイマー（スターター含む）や他社盗難警報機との併用取付けはできません。

●本機作動中は、車の仕様によりキーレスエントリーシステムまたはワイヤレスドアロックが作動しない事があります。リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。

●本製品作動中、オートポジションステアリングおよびドライビングポジショニングシステムが作動しない事があります。リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。

●スターターやターボタイマーを使用する時、車のオートライト機能を「AUTO」にするとヘッドライトが点灯したままになる車両は、降車時にスイッチを OFF にしてからキーを抜いてください。

●公道でエンジンをかけたまま車両を無人で放置すると、道路交通法違反となります。必ず私有地でご使用ください。(公道とは、公共施設･スーパー･月極等の駐車場や河川敷･神社の境内等、不特定多数の車が出入りできる場所を含みます)

●一部車両にてエンジンスターター作動中エアコンやヒーターが使用できない場合がありますが、故障ではありません。

●本製品は防水加工されていません。雨、雪、水等のかかる場所や濡れた手での操作は避けてください。リモコン内部に水分が浸入した場合、故障の原因となり修理不可となる事があります。
※急激な温度変化による結露や汗をかいた手で触ったり、ポケット等に入れた状態で雨や汗による蒸れ等によって内部に水分が浸透する恐れがありますのでご注意ください。

※ 本機取付け後にエンジン始動および停止した時、メインユニットからブザー音が鳴ることがありますが、異常ではありません。

⚠ 電波法について

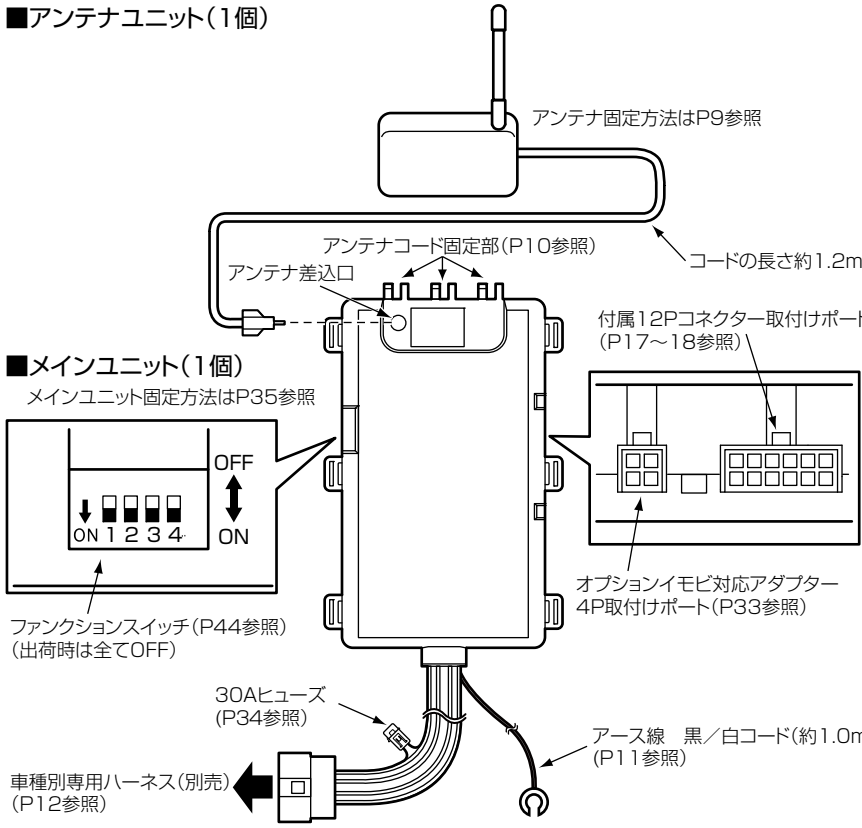
●リモコンケース裏面の技術基準適合証明ラベルは剥がさないでください。このラベルを剥がすと技術基準適合機として認められなくなるので、必ずラベルが貼られた状態で使用してください。

●分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用すると電波法により罰せられることがあります。

各部の名称

アンテナ / メインユニット

■アンテナユニット（1個）



ファンクションスイッチのはたらき（詳細は P30 参照）

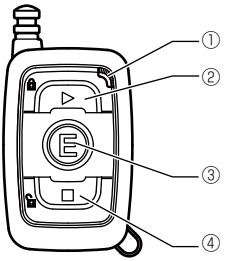
No	スイッチのはたらき	OFF	ON	No	スイッチのはたらき	OFF	ON
1	P ポジション検出（※1）	通常	0V	3	IG 入力検出の選択（※ 2）	IG1	IG2
2	フットブレーキ配線	配線しない	配線する	4	ディスプレイモード（※ 3）	無効（通常）	有効

※ 1　一部の車両でターボタイマー作動中、シフトレバーがパーキングⓅやニュートラルⓃの位置以外でキーが抜けてしまう場合に Be-963　P ポジション線を車両の P ポジションインジケーターランプに配線して ON（0V）に設定してください。

※ 2　一部の車両はリモコンでエンジンをかけた時セルがまわらず、エンジンが始動しない場合やターボタイマーを使用した場合にキーを抜いてもエンジン停止しない場合があります。そのような時はファンクションスイッチ No.3 を ON にしてください。

※ 3　ディスプレイモードは販売店で本機をディスプレイとして展示する場合に、No.2、No.4 を ON（有効）に設定してください。通常は OFF（無効）に設定してください。

リモコン



No.	名　称
①	LED（赤）
②	スタート／ LOCK スイッチ（▶）
③	エンジンスイッチ（E）
④	ストップ／ UNLOCK スイッチ（■）

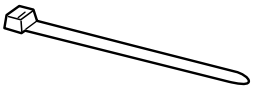
電池の入れ方は⇒（P43）

リモコンの操作方法

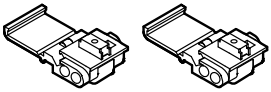
作動内容	操作方法
エンジンスタート	E → ▶
エンジンストップ	E → ■
車両ドアロック＆当社別売セキュリティシステム　スタート（オプション接続時）	▶ → ▶
車両ドアアンロック＆当社別売セキュリティシステム　ストップ（オプション接続時）	■ → ■
タイプ1 スライドドアを開ける／閉める ※オプション『オートスライドドアユニット』接続時	▶ → E
タイプ2 タイプ3 スライドドアを開ける ※オプション『オートスライドドアユニット』接続時	■ → E
タイプ2 タイプ3 スライドドアを閉める ※オプション『オートスライドドアユニット』接続時	▶ → E

梱包内容

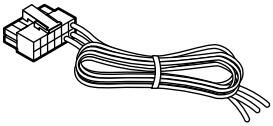
インシュロック（1 本）



エレクトロタップ (2 個)



12P コネクター（1 個）



取付け

取付け上の注意

⚠ 注意
取付けには専門知識が必要です。取付けはお買い上げの販売店または、カーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身で取付けられた場合は、保証が受けられません。

取付ける前に下記の点に注意して、本機の取付けを行ってください。

取付けに必要な工具等

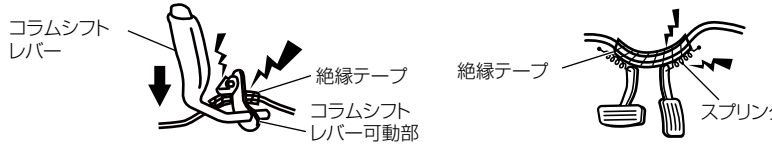
・サーキットテスター　・ドライバー（+）　・ニッパー　・絶縁テープ
・プライヤー　・スパナまたはボックスレンチ　・保護テープ
※ その他の工具が必要になる場合があります。

シフトレバーとパーキングブレーキ (サイドブレーキ) について

シフトレバーを P (パーキング) にして、パーキングブレーキ (サイドブレーキ) を確実にかけ、キーを抜きます。

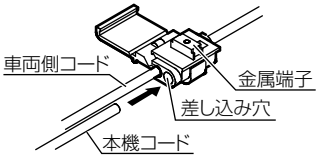
配線について

ダッシュボード内（コラムカバー内等）へ収納する際、車両金属部（コラムシフトレバー可動部、ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄板等）に各種ハーネスが接触してショートしてしまいメイン、ユニットのヒューズ切れ、メインユニット故障、車両ヒューズ切れなど本体の動作不良となりますので、必ず市販の絶縁テープを貼って保護し、各種ハーネスと車両金属部が接触しないように取付けを行ってください。

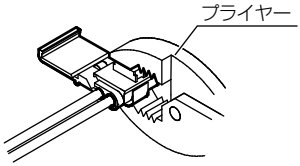


エレクトロタップ使用方法について

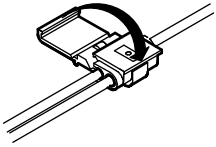
1）車両側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、本機コードは差込み穴からストッパーまで深く挿入します。



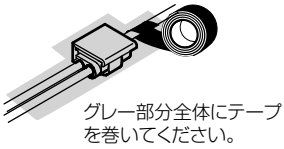
2）プライヤーで金属端子を完全に押し込みます。



3）カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。



4）絶縁テープを巻いて作業終了です。



取付け

コネクター接続、アンテナユニットの固定方法

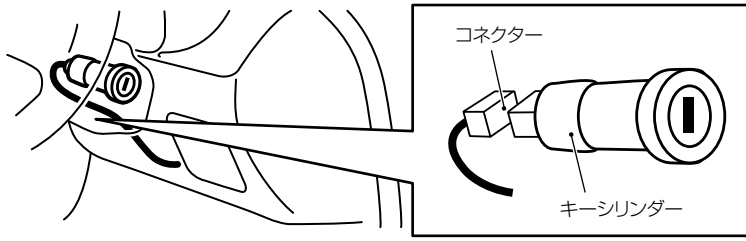
取付け手順における注意点

取付け手順（⇒ P8 ～ 12）通りに接続を行わないとメインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴らない場合があり、初期設定および動作確認を行うことができません。
必ず取付け手順に従って取付けを行ってください。

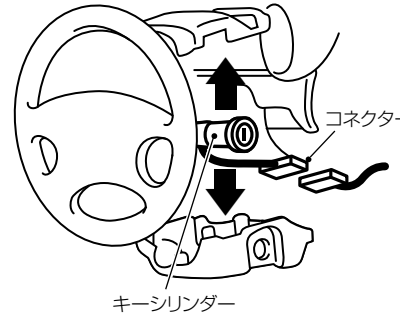
1）車のキーシリンダーから出ているコネクターを探す

※コネクターの場所は車種によって異なります。（ほとんどの車が下記のいずれかにあてはまります）車種によってはコネクターが 2 ケ所存在する場合もあります。

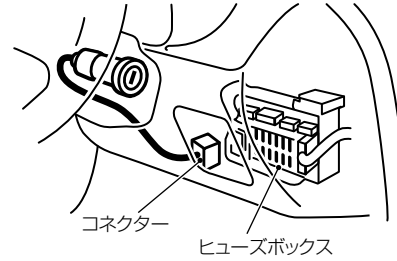
① キーシリンダー直付けタイプ



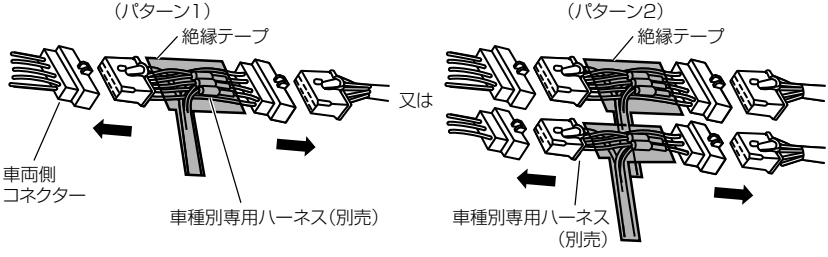
② キーシリンダーから 10cm ～ 20cm の場所にあるタイプ



③ ヒューズボックス、またはヒューズボックス付近にあるタイプ



2）車両側のコネクターを外し、外したコネクター間を車種別専用ハーネス（別売）で接続してください。その際、市販の絶縁テープを巻いて配線保護をしてください。

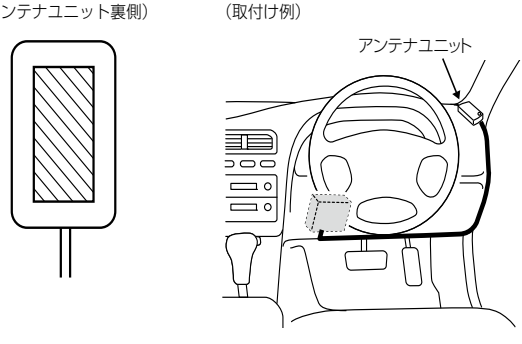


⚠ 注意

- **車種別専用ハーネス（別売）を接続しただけでは、エンジンは始動しません。もしエンジン始動した場合は、そのコネクターは違いますので別のコネクターを探してください。**
- **専用ハーネスによっては車両側のコネクターを 2 ケ所外し、接続する必要があります。（パターン 2 参照）**

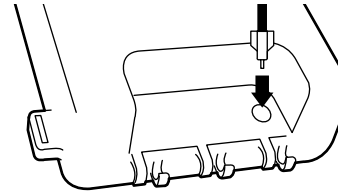
3）アンテナユニットの取付け・配線

① アンテナユニットの取付けは、アンテナユニット本体裏の ▨ 部の両面テープの剥離紙をはがして、ダッシュボード、サイドピラー（Aピラー）等に取付けてください。

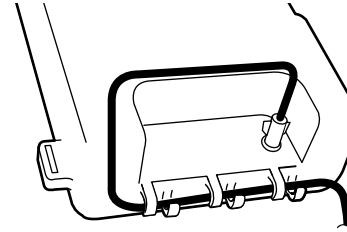


取付け

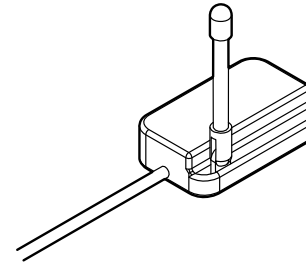
② アンテナコードの端子をメインユニットのアンテナコネクターに差込みます。



③ アンテナコードをメインユニットのコード固定部にしっかりと固定します。



④ アンテナユニットのアンテナを立てた状態でご使用ください。



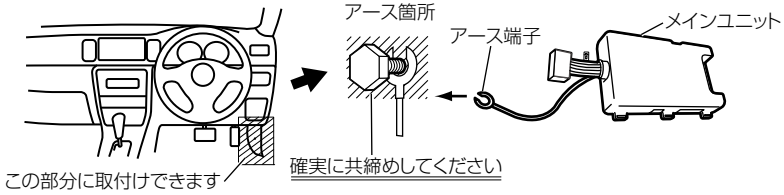
⚠ 注意

- アンテナユニットは視界の妨げになる場所（運転席／助手席から前のガラス面等）に取付けないでください。
- アンテナユニットは、エアバッグ（助手席・サイド含む）の作動に影響の無い場所に取付けてください。
- アンテナユニットを取付ける際は、あらかじめ汚れや脂分をよくふきとってから貼ってください。
- アンテナを可変させる場合は必ず根元を持って動かしてください。先端を持って無理に可変させますと、アンテナが変形する可能性がありますので十分ご注意ください。

4）アース端子の取付け

アース端子（黒／白コード）を、塗装されていないボディまたはフレームのビスへ確実に共締めしてください。

（取付け例）

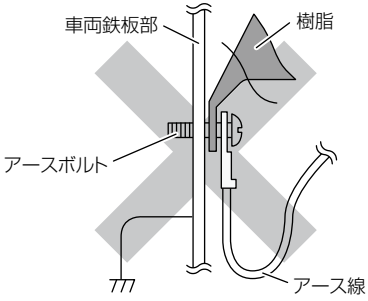


⚠ 注意

アースボルトとアース線の間に樹脂などを挟んでいる（右図）と初期設定および動作確認が行えない為、車両鉄板部に確実に共締めしてください。

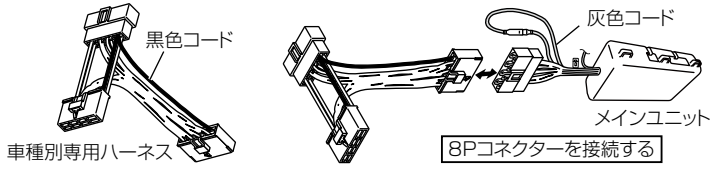
取付け手順通り（⇒ P8 ～ 12）に接続を行なわないとメインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴らない場合があり、初期設定および動作確認を行なうことができません。
必ず取付け手順に従って取付けを行なってください。

NG 取付例

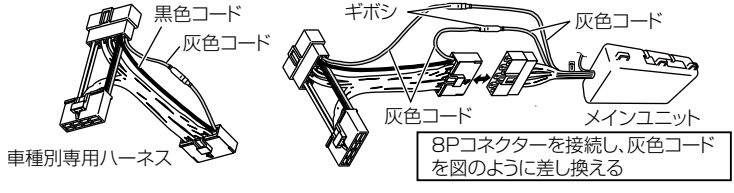


5）4）のアース端子の取付けを行ってから専用ハーネスの 8P コネクターとメインユニットの 8P コネクターを接続します。
下記の車種別専用ハーネスの種類を確認し、配線してください。

・車種別専用ハーネスに黒色コードが 1 本の場合



・車種別専用ハーネスに黒色コードと灰色コードが各 1 本の場合



※上記の車種別専用ハーネスを使用する場合、灰色コード差替え作業を行わないと車両自体の動作不良（エアコン、オートクルーズ動作不良、ABS ランプ点灯など）を起こす恐れがあります。

6） 5）の８Ｐコネクター接続が終わると、メインユニットから接続確認のメロディ「ドレミファソラシド」が鳴ります。

アドバイス

メインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴らない場合

・車種別専用ハーネスの適合または、専用ハーネスの取付け位置を確認の上、アース端子の取付け位置の変更と、メインユニットの８Ｐコネクターを外して約 10 秒程待ってから、再度コネクターの接続を行ってください。

初期設定および動作確認

〈重要〉初期設定を行わないと本機は作動しません。

事前確認事項

・取付けおよび接続(⇒ P8 ～ 12)後、接続確認メロディ「ドレミファソラシド」を確認してから、必ず下記の初期設定および動作確認を行ってください。
・初期設定および動作確認前に安全のため、必ずパーキングブレーキをかけてください。
・下記の手順に従って初期設定および動作確認を行ってください。

※ お客様の車のバッテリーの交換や、本機の付け替えなどで、バッテリーや車種別専用ハーネスを取りはずした場合にも下記の初期設定、動作確認、ID コードの再登録を行ってください。(⇒ P55)

初期設定および動作確認手順

以下の操作を行わないとリモコンでエンジン始動できません。

1）キーを ACC（アクセサリー）の位置まで回して止めてください。

Q: この時、ラジオ等アクセサリー電源が ON になりますか？

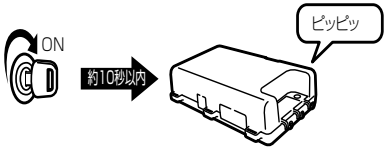
YES 2)へ

NO → P16 A

2）キーを ON の位置まで回して止めてください。
約 10 秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。

※アース線 黒／白コードの取付け・固定が確実にされているか再確認してください。

Q: この時、メーターパネル等の電源が ON になり、メインユニットのブザー音が約 10 秒以内に「ピッピッ」と鳴りますか？



⚠ 注意

セルを回さずにキーを ON で 5 秒以上停止した場合に、メインユニットから毎回ブザー音が「ピッピッ」と鳴りますが、本体の仕様のため、異常ではありません。

YES 3)へ

NO → P16 A

3）2）の操作後、キーを OFF にせずに **10 秒以内**にエンジンを始動してください。エンジンが始動している状態で**約 5 秒後**にメインユニットのブザー音が「ピーピッピッ」と鳴ります。

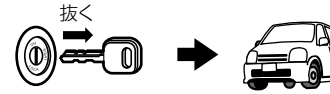
なお、L 端子線を接続している場合は、メインユニットのブザー音が「ピーピーピー」に変わります。（⇒ P20 ～ 22）

⚠ 注意

※この操作を行うことにより、車両情報を認識します。
上記操作を行い、メインユニットのブザー音が鳴らないとリモコンでエンジン始動できません。
ブザー音が鳴らない場合は、もう一度2）から動作確認操作を行ってください。

Q: この時、エンジンが始動しますか？

4）キーを OFF の位置まで回して、抜いてください。



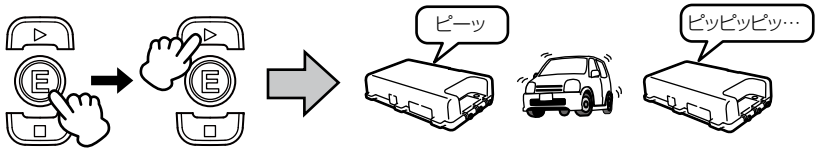
Q: この時、エンジンが停止しますか？

5）リモコンのエンジンスイッチ(E)を押した後、リモコンのLEDランプ(赤)が点滅している間にスタートスイッチ (▶) を押してください。

Q: この時、メインユニットのブザー音が「ピーッ」と1秒間鳴り、エンジンが始動しますか？
また、アイドリング開始後、メインユニットのブザー音が「ピッピッピッ…」と鳴りますか？

アドバイス

- アイドリング中でのメインユニットからのブザー音「ピッピッピッ…」を消音する事はできません。
- メインユニットのブザー音が「ピッピー」と鳴る場合は、ディスプレイモードに設定されていますので、設定を無効にしてください。(⇒ P44)
- エンジン始動してもエアコンが効かない場合やオートクルーズ等のランプが点灯する場合は灰色の配線の差替えを行ってください。(⇒ P12)



フットブレーキ配線をしていない場合 → YES 6)へ

フットブレーキ配線をしている場合 → YES 7)へ

NO → P16 C

6）A/T シフトストップ機能確認をしてください。エンジン始動中にシフトレバーを P（パーキング）および N（ニュートラル）以外の位置にしてください。(一部車両でシフトレバーがロックされて動かない場合があります)

Q: シフトレバーが動く場合、エンジンが停止しますか？
また、メインユニットのブザー音が「ブーブーブーブー、ブーブーブーブー」(P/N 検出エラー音）と鳴りますか？

- シフトレバーが P 以外動かない
- エンジンが停止する
- ブザー音が鳴る

→ YES

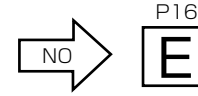
すべての動作は正常です。

- エンジンが停止しない
- ブザー音が鳴らない

→ NO → P16 D 7)へ

7）前頁6）にて D へ進んだ場合フットブレーキ検出線（黄）を接続後、フットブレーキを踏んでください。（⇒ P19）

Q: この時、エンジンが停止し、メインユニットのブザー音が「ブー、ブー」（フットブレーキ検出エラー音）と鳴りますか？



すべての動作は正常です。

※再度、エラー音を確認したい場合は、リモコンのエンジンスイッチ（E）を押した後、リモコンの LED ランプ（赤）が点滅している間にストップスイッチ（■）を押してください。

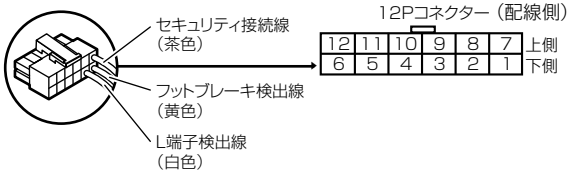
初期設定および動作確認対処方法

下記の A ～ E の各対処方法を行った場合は、再度初期設定および動作確認を 1）から始めてください。

A	1. 専用ハーネスの配線場所が違っていませんか？（⇒ P8 ～ 12） 2. 専用ハーネスの配線方法が違っていませんか？（⇒ P8 ～ 12） 3. お車に適した専用ハーネスを使用していますか？ （車種別専用ハーネス表で確認するか 弊社ホームページ http://www.e-comtec.co.jp 車種別適合表にて確認してください。） 4. アースが不安定な場合やアース線（黒／白コード）をボディアースへ取付け固定していますか？ →アース端子をしっかり固定してください。（⇒ P11）
B	ターボタイマーが作動していませんか？（⇒ P50） →ターボタイマーの設定を「設定 OFF」にしてください。
C	1. 動作不良エラーブザー音が鳴る時 →動作不良エラーブザー音を確認し、エラーを解除してください。（⇒ P36 ～ 37） 2. 動作不良エラーブザー音が鳴らない時 →セルが短くエンジンが始動しない場合は、セルストップ時間の調整をしてください。（⇒ P45 ～ 51） →セル自体回らない場合、スマートキー装着車、インテリジェントキー装着車、イモビライザー装着車の可能性があります。 別売のオプションで対応してください。（⇒ P52） リモコン電池の電圧を確認後、ID コードの再登録を行ってください。（⇒ P55）
D	フットブレーキ配線を行ってください。（⇒ P19）
E	フットブレーキ配線を確認してください。（⇒ P19）

12P コネクターの接続

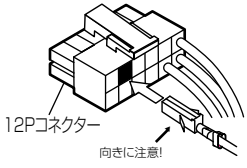
12P コネクターにはオプションを接続することができます。（⇒ P18）



取付け方

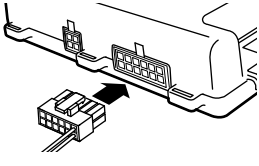
1）付属 12P コネクターに配線する端子をしっかりと差込みます。

※ 一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意下さい。



2）付属 12P コネクターをメインユニットにしっかりと差込んでください。

※ オプション等を後から取付けする場合は一旦、コネクターを抜いてから接続してください。



12P コネクター接続内容

NO.	名称	機能説明
1	フットブレーキ（⇒ P19）	フットブレーキ配線をする場合にフットブレーキ検出線（黄色）を使用します。
2	L 端子 (⇒ P20 ～ 22)	L 端子配線をする場合に L 端子検出線（白色）を使用します。
3	オプション 1 （イモビ／セキュリティアラーム対応アダプター）	弊社オプション Be-IL506/Be-976（イモビ／セキュリティアラーム対応アダプター）を接続するために使用します。
4	オプション 2（オートスライドドアユニット）	弊社オプション Be-975（オートスライドドアユニット）を接続するために使用します。
5	カーテシ（オプション） (⇒ P31 ～ 32)	弊社オプション Be-970(ドアロック配線キット) または、Be-963（カーテシ線）を接続するために使用します。 リモコンでエンジン始動中、ドアを開けるとエンジンを約 15 秒後停止または、即強制停止できます。ターボタイマー作動中はドアを開けてもエンジンは停止しません。
6	未使用	
7	弊社別売セキュリティシステム接続（⇒ P23）	SR100 のリモコンで弊社別売セキュリティシステムのスタート／ストップ操作をするときにセキュリティシステム接続線（茶色）を使用します。
8	ドアアンロック（オプション） (⇒ P26 ～ 30)	弊社オプション Be-970（ドアロック配線キット）ドアアンロック線を接続するために使用します。
9	ドアポジション（オプション） (⇒ P26 ～ 30)	弊社オプション Be-970（ドアロック配線キット）ドアポジション線を接続するために使用します。
10	ドアロック（オプション） (⇒ P26 ～ 30)	弊社オプション Be-970（ドアロック配線キット）ドアロック線を接続するために使用します。
11	ハザード（オプション）	弊社オプション Be-968（アンサーフラッシュリレー）を接続するために使用します。 ドアロック・ドアアンロックと連動しハザードが点滅します。
12	P ポジション（オプション） (⇒ P33)	ターボタイマー作動中、シフトレバーが P (パーキング) 以外でキーが抜ける車両にオプション Be-963（P ポジション線）を接続します。

フットブレーキ配線

⚠ 注意

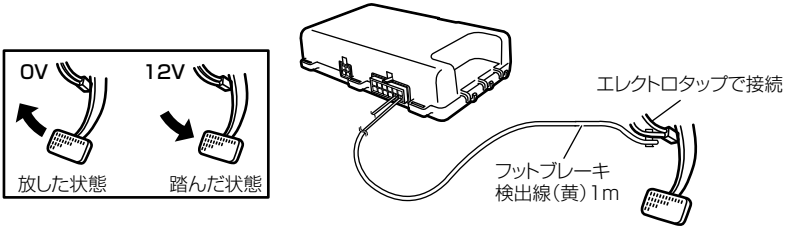
一部の車種は、シフトポジション検出が正常にできない場合があります。その場合は、フットブレーキ配線をし、フットブレーキを一度踏んでください。

※シフトチェンジの際、必ずフットブレーキを踏むので、シフトポジション検出のかわりとして使用します。

- **日産の一部車両（Y33 系のシーマ、セドリック、グロリアは、バードビューナビゲーション装着車に限る）はパーキングブレーキへ配線してください。**
- **スターター作動時または、ターボタイマー作動時にシフトレバーを P/N 以外の位置へ動かした時にエンジンが止まらない車種。**
- **シフトレバーが Ⓟ（パーキング）の位置で、リモコンスタート時にメインユニットからブザー音が「ブーブーブーブー、ブーブーブーブー」と鳴った場合。（P/N 検出エラー）**
- **エアバッグ等の警告ランプが点灯する車種。**

1）メインユニットのフットブレーキ検出線（黄）をフットブレーキへ配線してください。

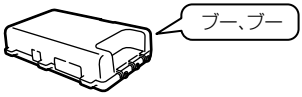
フットブレーキを放した状態で 0V、踏んだ状態で 12V の線にフットブレーキ検出線（黄）をエレクトロタップで接続します。



※エレクトロタップの使用方法は（⇒P8）

2）接続後必ずフットブレーキを一度踏んでください。
フットブレーキ検出線からのブレーキ認識が必要となります
（この時メインユニットからブザー音は鳴りません）

3）リモコンでエンジン始動中、フットブレーキを踏んでエンジンが止まる事を確認してください。（動作不良エラー確認表（⇒ P36 ～ 37）の No.1 のブザー音「ブー、ブー」が鳴っている事を確認してください）



※ リモコンでエンジン始動中、フットブレーキを踏んでエンジンが止まらない場合 1）からの取付けを確認してください。

取付け

L 端子配線

本機には、2 種類（自動検出・L 端子検出）のエンジン始動検出方法があります。ほとんどの場合、自動検出でエンジン始動を行なえますが、一部車種でできない場合があります。
セル時間の設定（⇒ P51）をしているのにも関わらず、下記のような症状になる場合は、L 端子配線を行ってください。

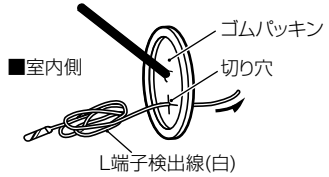
- エンジンがかかったり止まったりをくり返す。
- 寒い時はエンジンがかからないが、暖かい時はかかる。

※ ディーゼル車や寒冷地にてご使用される方は L 端子検出を行うと、より確実なエンジン始動が可能です。

以下の手順で L 端子配線を行ってください。

⚠ 注意
シフトレバーを Ⓟ（パーキング）にしてキーを抜いてから作業を行ってください。

1）エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキンなど、線が通る場所にカッターナイフ等で穴を開け L 端子検出線（白）を図の様に室内側からいれてください。



2）車両の L 端子線 (オルタネータの所にあります) まで、本機 L 端子検出線 (白) を配線してください。

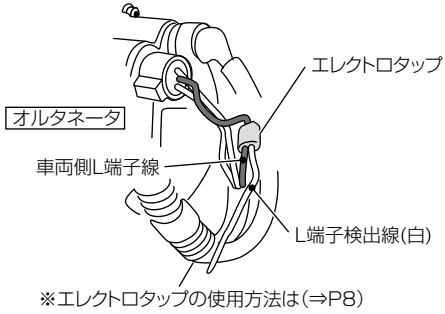
3）車両のオルタネータにあるＬ端子線を探してください。

車両側Ｌ端子の見分け方

キーの位置	ON（セルまで回さないでONで止める）	ON（セルを回してエンジンをかける）
エンジンの状態	エンジン停止時	エンジン始動時
電圧 ※ 電圧の確認はサーキットテスターで確認してください。	オルタネータ 車両側L端子線 4V以下	8V以上

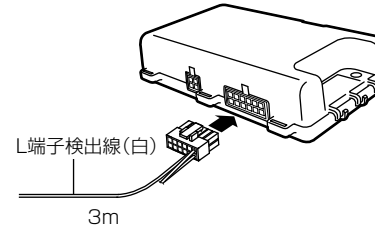
※エンジン始動時 8V 以下の場合は Be-966（L 端子検出アダプター）が必要です。

4）車両側のＬ端子線とＬ端子検出線（白）を付属のエレクトロタップで接続してください。

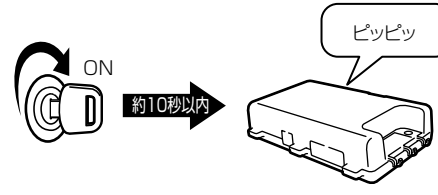


取付け

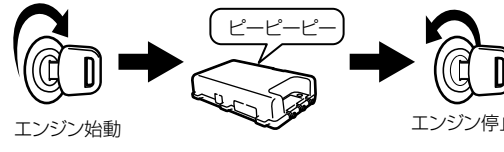
5）メインユニットに 12P コネクターを差込んでください。



6）キーを ON の位置まで回して止めてください。
約 10 秒以内にメインユニットブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



7）6）の操作後、キーを OFF にせずに **10 秒以内**にエンジンを始動してください。エンジンが始動している状態で**約 5 秒後**にメインユニットからのブザー音が「ピーピーピー」と鳴ります。



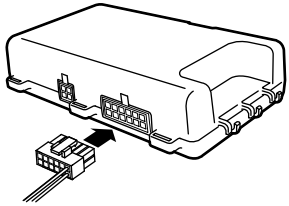
※ 7）のメインユニットのブザー音が鳴らない場合は、再度 1）から確認してください。

「弊社別売セキュリティシステム」連動について

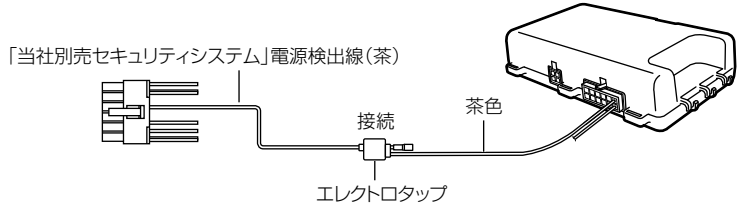
弊社別売セキュリティシステムと接続する

SR100 のリモコンで弊社別売セキュリティシステムのスタート／ストップ操作ができます。
（弊社別売セキュリティシステムと接続するにはセキュリティシステム接続線（茶）を使用します）

1） メインユニットに 12P コネクターを差込んでください。



2） 12P コネクターの No.7 から出ているセキュリティシステム接続線（茶）と弊社別売セキュリティシステムから出ている電源検出線（茶）をエレクトロタップを使用して接続してください。



※ キー ON で弊社別売セキュリティシステムシリーズが作動停止します。

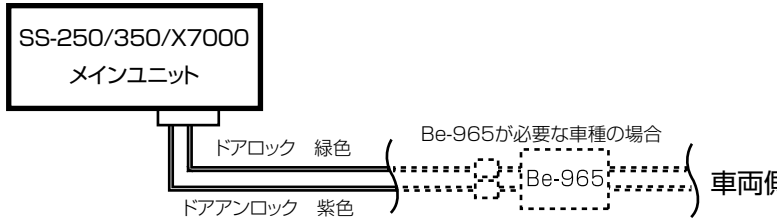
⚠ 注意

一部の弊社別売セキュリティシステムは SR100 のリモコンでスタート／ストップ操作ができませんので、購入前に必ず「エンジンスターター車種別専用ハーネス適合表」のエンジンスターターリモコンとセキュリティシステムのリモコンの操作互換表でご確認ください。

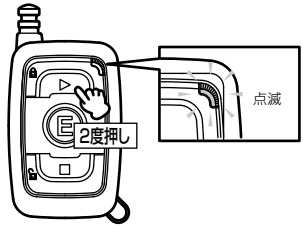
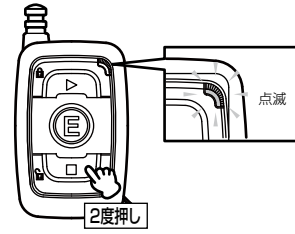
取付け

下図のような配線を行うことにより、SR100 のリモコンおよび弊社別売セキュリティシステムのリモコンでドアロック・ドアアンロックさせることができます。（⇒ P26 ～ 30）

・**SS-250/350/X7000 の場合**（セキュリティ側で配線を行ってください）



SR100 のリモコンで弊社別売セキュリティシステムをスタート／ストップさせる

リモコンの操作方法	
スタートさせる	**ストップさせる**
1. スタートスイッチ（▶）を押し、LED ランプ（赤）を点滅させ、点滅している間に再度スタートスイッチ（▶）を押します。  2. リモコンからの電波を受信すると、弊社別売セキュリティシステムがスタートします。	1. ストップスイッチ（■）を押し、LED ランプ（赤）を点滅させ、点滅している間に再度ストップスイッチ（■）を押します。  2. リモコンからの電波を受信すると、弊社別売セキュリティシステムがストップします。

※ ドアロック配線をしている場合に、セキュリティシステムを作動させるとドアロック機能も連動して作動します。

警報中の弊社別売セキュリティシステムをストップさせる

弊社別売セキュリティシステムが作動中または警報中の時に、SR100 のセキュリティストップ操作または、キーでエンジンを始動すると、作動および警報が停止します。

⚠ 注意

SR100 または、弊社別売セキュリティシステムのリモコンで、セキュリティスタート・ストップ作動させる場合は、誤作動防止とセキュリティ機能向上のために下記の事項をお守りください。

- **SR100 のリモコンでセキュリティ連動スタートした場合は、必ずの SR100 のリモコンでセキュリティストップしてください。**
- **弊社別売セキュリティシステムのリモコンでセキュリティスタートした場合は、必ず弊社別売セキュリティシステムのリモコンでセキュリティストップしてください。**

取付け

ワイヤレスドアロック機能について

本機リモコンでドアロック／ドアアンロック作動させることができます。
※ オプション Be-970（ワイヤレスドアロック配線キット）が必要になります。

⚠ 注意
一部車両でエンジンスターターまたは、ターボタイマーのアイドリング中に、純正のキーレスエントリーが作動できないものがあります。

接続方法について

自動車メーカーや車種によってワイヤレスドアロック接続方法が異なります。また、オプション Be-970（ワイヤレスドアロック配線キット）と Be-965（ワイヤレスドアロックアダプター）を必要とする車種がありますので注意してください。

A タイプ（マイナスコントロール）‥ オプション Be-970（ワイヤレスドアロック配線キット）だけで作動するタイプ
B タイプ（プラスコントロール）‥‥ オプション Be-965（ワイヤレスドアロックアダプター）が必要なタイプ

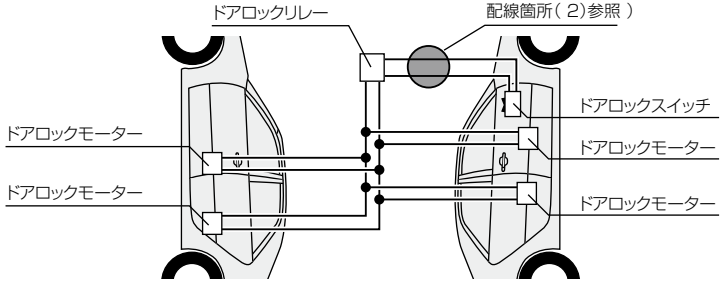
詳しくは、最新のビータイム車種別専用ハーネス適合表をご確認ください。
ホームページ　http://www.e-comtec.co.jp

※ただし、下記に示す車両には使用できません。
- 弊社車種別専用ハーネス適合表にてドアロック・ドアアンロック作動可能と明記のない車種。
- トヨタ車以外で、純正キーレスがついていない車種。
- 一部多重通信車。
- 集中ドアロック制御できない車種。
- 弊社以外のセキュリティシステム装着車。(ドアロック連動タイプ)

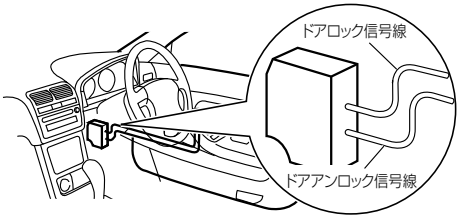
接続方法

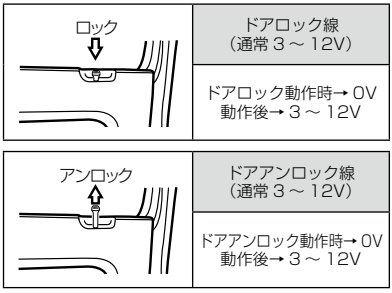
A タイプ ‥‥‥オプション Be-970 だけで作動するタイプ

1）接続概要図



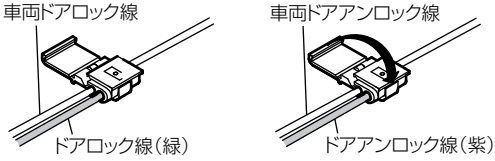
2）車両側ドアロック／ドアアンロック線を探してください。
ドアロックレシーバー、ドアロックリレー、ドア内へ配線されているハーネス、ドア内の集中ロックまわりから探し出します。





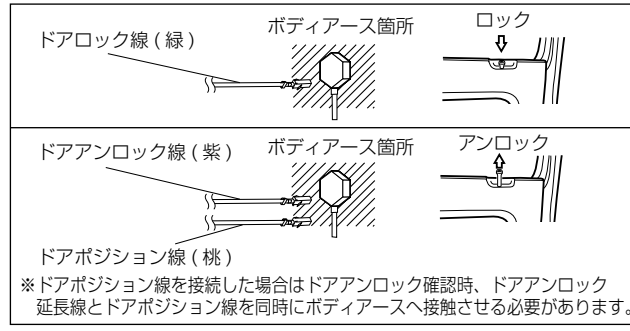
※場所および電圧は車種によって異なります。

3）ドアロック／ドアアンロック線（緑・紫）を車両側ドアロック線／ドアアンロック線にそれぞれエレクトロタップで接続します。

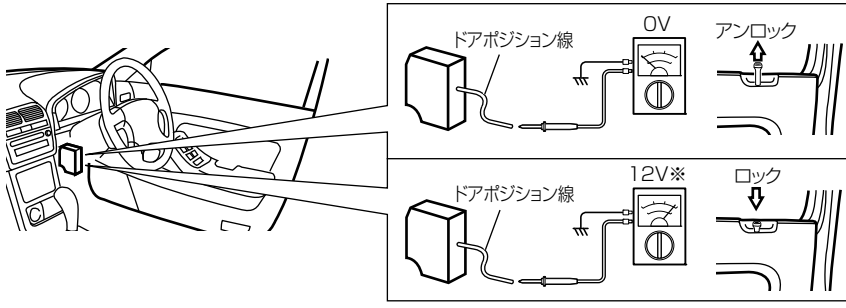


※エレクトロタップ使用方法は（⇒ P7）

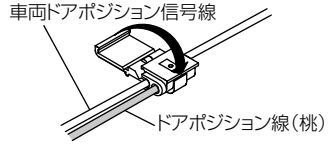
4）エレクトロタップで接続後、必ず Be-970（ワイヤレスドアロック配線キット）の延長線の端子部をボディアースに接触させ、ドアロック／ドアアンロックが作動するか確認します。



・（トヨタ系またはニッサン系の一部車両）ドアアンロックが作動する場合は、6）へ進んでください。
・ドアアンロックが正常に作動しない場合、ドアポジション信号の接続が必要となりますので、5）へ進んでください。
ドアロックノブを操作してロック時に 12V ※、アンロック時に 0V になる線を探します。
※一部の車種で、パルス信号のため、12V 出力しないものがあります。



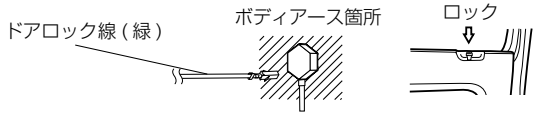
5）項目4）で探したドアポジション信号線にドアポジション線（桃）をエレクトロタップで接続します。

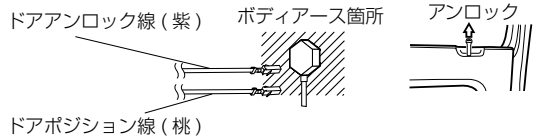


※エレクトロタップ使用方法は（⇒ P8）

⚠ 注意

エレクトロタップで接続後、12P コネクターに端子を差し込む前に Be-970（ワイヤレスドアロック配線キット）のドアロック／ドアアンロック延長線の端子部をボディアースへ接触させ、ドアロック／ドアアンロックが正常に作動するか必ず確認してください。





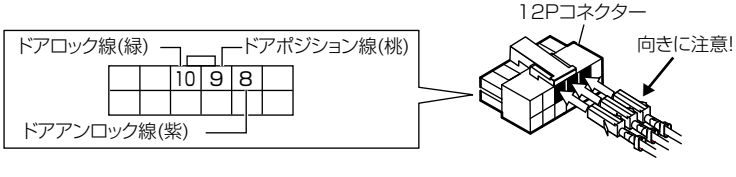
ドアポジション線 (桃)

※ドアポジション線を接続した場合はドアアンロック確認時、ドアアンロック延長線とドアポジション線を同時にボディアースへ接触させる必要があります。

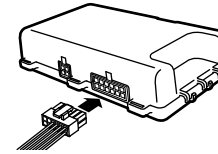
6）12P コネクターの差し込み番号を確認後、以下のようにしっかり差込んでください。

NO. 8 → ドアアンロック線 (紫)
NO. 9 → ドアポジション線 (桃)
NO. 10 → ドアロック線 (緑)

※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。

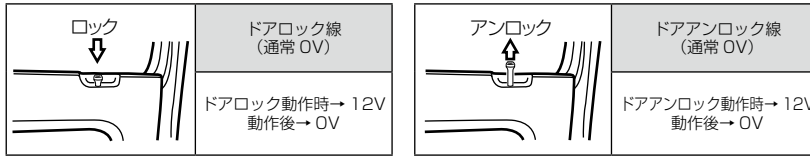


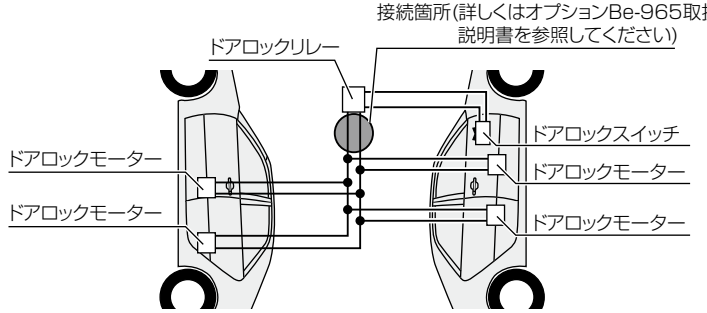
7）メインユニットに 12P コネクターを差込んでください。



B タイプ ･････オプション Be-965（ワイヤレスドアロックアダプター）が必要なタイプ

1）接続概要図





カーテシ検出による安全機能

オプション Be-970（ワイヤレスドアロック配線キット）または Be-963（カーテシ線）が必要になります。

⚠ 注意

- **多重通信車はカーテシ検出できません。**
- **カーテシ配線を行った場合、車両によりルームランプ点灯中はエンジンを始動することができません。ルームランプが消灯してからエンジンを始動してください。**

カーテシ検出の設定（初期設定は 1）

ご使用状況により下記の 3 種類の設定に変更できます。（⇒ P48 ⑧）

設定 1 ･････ リモコンでエンジン始動中にドアを開けると、約 15 秒後にエンジンを停止させる。

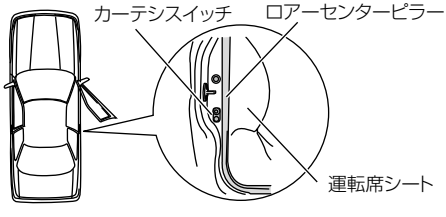
設定 2 ･････ リモコンでエンジン始動中にドアを開けると、即エンジンを停止させる。

設定 OFF ･･･ リモコンでエンジン始動中にドアを開けても、エンジンは停止しません。

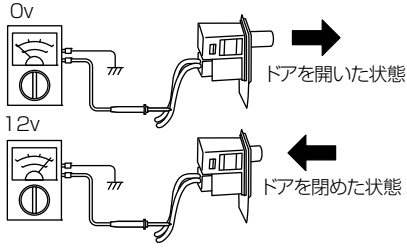
注 1. 設定 1、2 の場合ドアを開けた状態でリモコンでスタートをしても、エンジンは始動しません。必ずドアを閉めた状態でリモコンでスタートしてください。

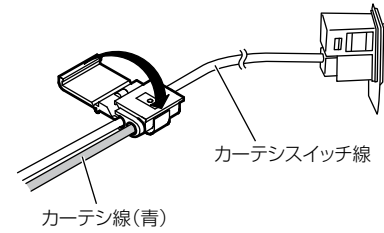
注 2. 設定 1 の場合に、リモコンでエンジン始動中、ドアを開けて約 15 秒以内にキーを ON の位置まで回すと、エンジン停止はしません。（カーテシ検出による安全機能を強制解除）

1）運転席側ロアーセンターピラーのカバーをはずします。



2）車両側カーテシ線をテスター等で探し、カーテシ線（青）と車両側カーテシ線をエレクトロタップで接続します。

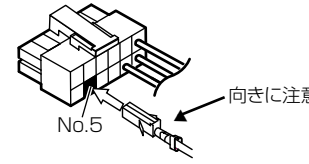




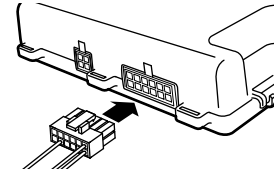
※エレクトロタップ使用方法は（⇒ P7）

3）12P コネクターの No.5 にカーテシ線（青）をしっかり差込んでください。

※一度、差込むと抜けなくなりますのでご注意ください。



4）メインユニットに 12P コネクターを差込んでください。



5）リモコンでエンジン始動後、アイドリング中にドアを開けてエンジンが停止するか確認してください。

※初期設定ではドアを開けると約 15 秒後にエンジンが停止します。（⇒ P48 ⑧）

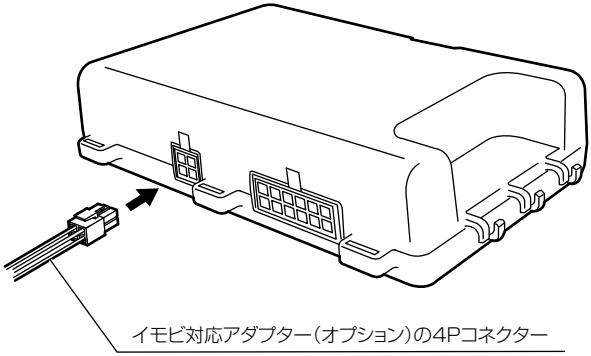
（動作不良エラー確認表（⇒ P37）の No.9 のブザー音「ブーブッブッブッ、ブーブッブッブッ」が鳴っているか確認してください。）

※ドアを開けて、エンジンが停止しない場合は、接続およびカーテシ検出の設定（⇒ P48 ⑧）を確認してください。

イモビ対応アダプターの取付け

本機は一部のイモビライザー装着車に対して、イモビ対応アダプター（オプション）を取付けることで SR100 のリモコンでエンジン始動させることができます。

※対応車種はハーネス適合表の
「イモビ対応アダプター」欄を参照ください。



Pポジション検出線接続について

- 一部車両で本製品をつけることによりエンジンを停止する時に、シフトレバーがP（パーキング）、N（ニュートラル）位置以外でキーが OFF まで回りキーが抜けてしまう場合は Be-963(カーテシ線・Pポジション兼用）が必要になる場合があります。
- ターボタイマー使用時に車両が動きだしてしまう可能性があります。その場合 Be-973（シフト検出アダプター）が必要になる場合があります。
- エンジンを止める時には必ずシフトレバーがP（パーキング）の位置にあることを確認してからエンジンを止め、キーを抜いてください。

1）P ポジション検出線を接続後必ず初期設定および動作確認が必要です。
（初期設定および動作確認後 P ポジション線の接続が有効になります。）
（⇒ P13 ～ 16）

2）ターボタイマー作動中シフトレバーがパーキングPまたはN位置以外でキーを OFF にしてキーが抜けないことを確認してください。

3）2）でキーが抜ける場合は再度 1）から取付けを確認してください。

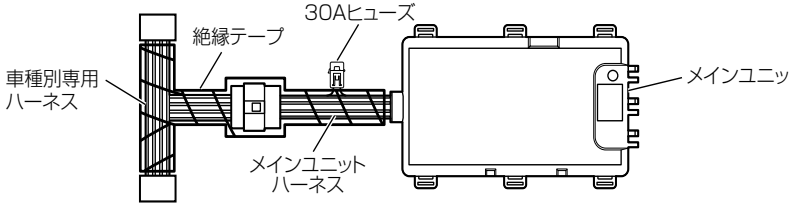
取付け

メインユニットの固定方法

全ての動作が正常と確認できたら、各種ハーネスに絶縁テープを巻いて、ハーネスの保護を必ず行ってください。

メインユニットハーネスと車種別専用ハーネスの配線保護について

・メインユニットハーネスと車種別専用ハーネスに必ず市販の絶縁テープを巻いて、保護をしてください。
・専用ハーネスがコラムシフトやステアリング可動部などと接触してショートし、メインユニットのヒューズ切れやメインユニットの故障、車両ヒューズ切れなどの本体の動作不良になる恐れがあります。
・また、絶縁テープを巻いたハーネスをダッシュボード内（コラムカバー内等）に収納する際、振動でハーネスが擦れないよう確実に固定をし、各種ハーネスと車両金属部がショートしないよう気を付けて収めてください。



⚠ 注意

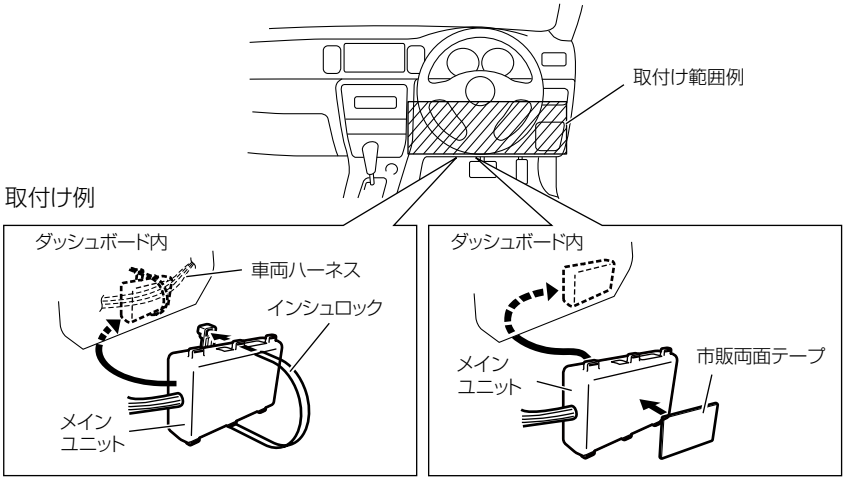
各種ハーネスと車両金属部の接触によるショートが原因の本体動作不良または車種別専用ハーネスの加工等、車両故障に関しては弊社で一切責任を負いません。

メインユニットの取付け

⚠ 注意

- **メインユニットの取付固定を行う前に、初期設定および動作確認を行ってください。（⇒ P13 ～ 16）**
- **エアコンやヒーター等の熱風または水滴を受ける場所・直射日光の当たる場所・不安定な場所・運転の妨げになる場所への取付けは避けてください。**

運転の妨げにならない場所に、インシュロックまたは市販両面テープでしっかりと固定してください。（ダッシュボード内側等）



動作不良エラー確認表

メインユニットからブザー音を鳴らすことで、製品の作動状態やエラーを確認することができます。

No.	ブザー音	名　称	内容／解除方法
1	ブー、ブー ⬭ ⬭	フットブレーキ検出エラー	本機作動中にフットブレーキを踏んだ時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるか、キーを ON の位置まで回してください。 対策 フットブレーキ検出線の接続を確認してください。(⇒ P19)
2	ブーブーブーブー、 ⬭⬭⬭⬭ ブーブーブーブー ⬭⬭⬭⬭	P.N 検出エラー	本機作動中にシフトレバーをⓅ (パーキング) またはⓃ (ニュートラル) 以外に動かしてエンジンがストップした時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるか、キーを ON の位置まで回してください。 リモコンでスタート後エンジンがかからない場合 対策 ①フットブレーキ検出線の接続をし、フットブレーキを一度踏んでください。(⇒ P19) ②イモビライザー装着車の場合、イモビ対応アダプターの取付け・接続方法の確認をしてください（イモビ対応アダプターの取扱説明書参照） ※ 上記対策後、再度リモコンでスタートさせるか、キー ON の位置まで回してください。
3	ブッブッブッ、 ○ ○ ○ ブッブッブッ ○ ○ ○	P ポジション検出エラー	P ポジション配線した場合、本機作動中にシフトレバーをⓅ (パーキング) 以外に動かしてエンジンがストップした時の状態。 解除するには、再度リモコンでスタートさせるか、キーを ON の位置まで回してください。 対策 P ポジション線の接続を確認してください。 (オプション Be-963 取扱説明書参照)
4	ブッブッブッブッ、 ○ ○ ○ ○ ブッブッブッブッ ○ ○ ○ ○	初期設定 車両情報未検出エラー	取付けを行った後、取扱説明書の初期設定および動作確認をもとに確実にキー操作で設定後、エンジン始動させて車両情報の認識を行ってください。(⇒ P13 ～ 16) 初期設定および動作確認を行わないとリモコンでエンジン始動できません。
5	ブッ、ブッ ○ ○	ACC 検出エラー	本機作動中にキーを ON まで回さずに ACC で止めてエンジンがストップした時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかキーを ON の位置まで回してください。
6	ブーブッ、 ⬭○ ブーブッ ⬭○	L 端子配線違いエラー	L 端子以外の線に間違って配線したときの状態。解除するには正しく配線後、再度リモコンでスタートさせるか、キーを ON の位置まで回してください。 対策 L 端子配線の確認をしてください。(⇒ P20 ～ 22)

※ ○は約 0.2 秒を示します。⬭は約 1 秒を示します。⬭は約 2 秒を示します。
※ 再度エラーブザー音を確認したい場合は、リモコンのエンジンスイッチを押した後、リモコンの LED ランプ（赤）が点滅している間にストップスイッチ（■）を押してください。

No.	ブザー音	名　称	内容／解除方法
7	ブーブッブッ、 ▭ ○ ○ ブーブッブッ ▭ ○ ○	リモコン ID 未登録	リモコンで ID 登録してください。
8	ブッブッブーブー、 ○ ○ ▭▭ ブッブッブーブー ○ ○ ▭▭	エンジン始動 検出エラー	リモコンでエンジンをスタート後、連続して 2 回セルを回すか、または連続して 2 回エンジンを始動させた状態（1 回でエンジンがかからない状態）。解除するには、キーを ON 位置まで回してください。 対策 ・エンジンが始動するまでセルが回らない場合 セルストップ方式がオートの設定の場合はセル延長時間を現状の設定より延長、マニュアルの場合はセルストップ時間を現状の設定より長めに設定してください。（⇒ P45 ～ 49） ・イモビライザー装着車の場合 イモビ対応アダプター適合可能な車種の場合、イモビ対応アダプターを取付けてください。（⇒ P52） ・エンジン始動検出が自動検出できない場合 L 端子配線の確認をしてください。（⇒ P20 ～ 22） ・インテリジェントキー装着車の場合 インテリジェントキー対応ハーネスの適合車種であればインテリジェントキー対応ハーネスを取付けてください。（⇒ P52 ）
9	ブーブッブッブッ、 ▭ ○ ○ ○ ブーブッブッブッ ▭ ○ ○ ○	カーテシ検出 エラー	カーテシ配線した場合、リモコンでエンジン始動中ドアを開いてエンジンが停止したときの状態。解除するには、ドアを閉めて再度リモコンでエンジン始動するか、キーを ON の位置まで回してください。 対策 カーテシ線の接続を確認してください。(P31 ～ 32) ⚠ 注意 車両によりルームランプ点灯中はエンジンを始動することができません。ルームランプが消灯してからエンジンを始動してください。

※ ○は約 0.2 秒を示します。▭は約 1 秒を示します。
※ 再度エラーブザー音を確認したい場合は、リモコンのエンジンスイッチを押した後、リモコンの LED ランプ（赤）が点滅している間にストップスイッチ（■）を押してください。

リモコンの使用方法

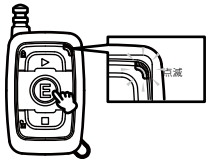
エンジンを始動させる

リモコンで下記の動作を行うとエンジン始動できます。エンジン始動後、設定したアイドリング時間（⇒ P45）が過ぎると自動的にエンジンを停止します。

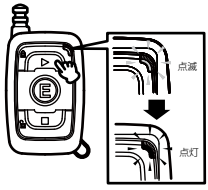
⚠ 注意

- **リモコン操作する時はアンテナを伸ばしてください。伸ばさないと著しく電波飛距離が短くなります。**
- **電池を交換した時は必ず下記動作を行ってリモコンの LED ランプが点滅・点灯するか確認してください。**
- **リモコンでエンジンを始動する時に、車のオートライト機能を「AUTO」にしている場合、エンジン始動と同時にヘッドライトが点灯したままになることがあります。必ずオートライト機能を「OFF」にしてから、リモコンでエンジン始動を行ってください。**
- **車から発生するノイズの影響でエンジン始動より、エンジン停止させる方が通信距離が短くなる事があります。**
- **同じ周波数帯の電波が周辺に出ている場合は、リモコンの送信音が「ブッブッブッ」と鳴り送信を行えません。**

1）エンジンスイッチ（E）を押し、LED ランプ（赤）を点滅させます。



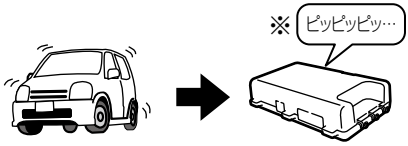
2）LED ランプ（赤）が点滅中にスタートスイッチ（▶）を押します。



3）アンテナユニットがリモコンからの電波を受信すると、下記のような作動をし、エンジンが始動します。

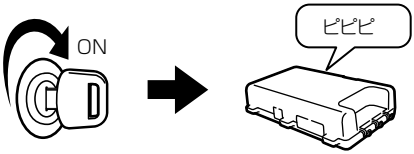
・メインユニットからブザー音が「ピーッ」と１秒間鳴ります。

4） エンジン始動後、アイドリングを開始すると、メインユニットからブザー音が「ピッピッピッ…」と連続して鳴ります。



※アイドリング時間中のブザー音は消音できません。

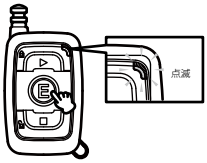
5） リモコン操作でエンジン始動中に、キーを ON まで回すと、メインユニットのブザー音が「ピピピ」と鳴ります。



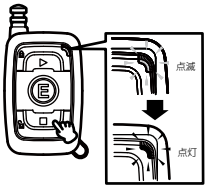
エンジンを停止させる

リモコンでエンジン始動中又は、ターボタイマー作動中に下記の動作を行うとエンジンを停止します。

1）エンジンスイッチ（E）を押し LED ランプ（赤）を点滅させます。



2）LED ランプ（赤）が点滅中にストップスイッチ（■）を押します。



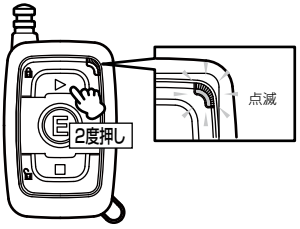
3）アンテナユニットがリモコンからの電波を受信すると、エンジンが停止します。

リモコンの使用方法

ワイヤレスドアロック機能の使用方法

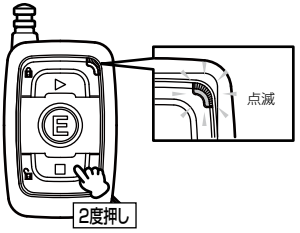
ドアをロックさせる

スタートスイッチ（▶）を２度押しし、
LED ランプ（赤）を点灯させます。



ドアをアンロックさせる

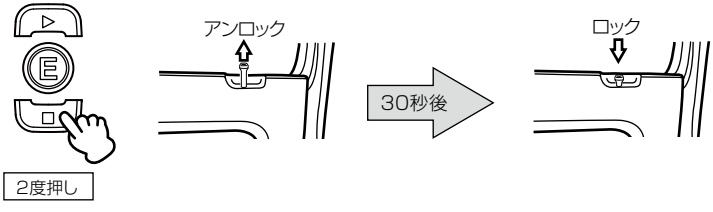
ストップスイッチ（■）を２度押しし、
LED ランプ（赤）を点灯させます。



オートロック機能について（初期設定は設定 OFF）

⚠ 注意
設定 1 および 2 の場合本機リモコンでドアをアンロックした時に、約 30 秒後に自動的にドアをロックします。キーのインロックをしないように、十分に注意してください。

オートロック機能とは、オートロックの設定を「設定 1」又は「設定 2」にした場合、本機のリモコンでドアをアンロックした時に、アンロックして約 30 秒後に自動的にドアをロックする機能です。



オートロック機能には下記の 3 種類の設定（解除）があります。

設定 1・・・・・・ リモコンでドアをアンロックした後に、約 30 秒以内にキーを ON するか、またはいずれかのドアを開けるとオートロック機能の作動解除ができます。（カーテシ配線が必要です）（⇒ P31 ～ 32）

設定 2・・・・・・ リモコンでドアをアンロックした後に、約 30 秒以内にキーを ON するとオートロック機能の作動解除ができます。

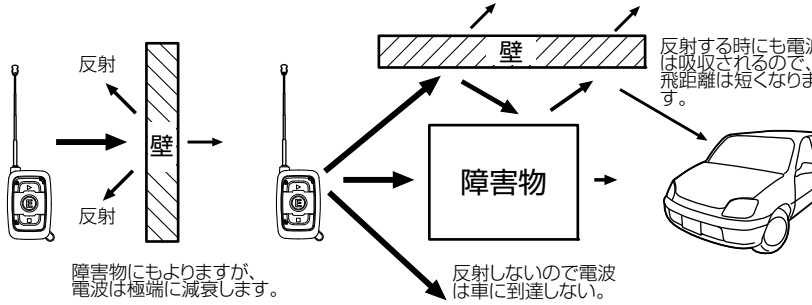
設定 OFF・・・ オートロック機能は作動しません。（初期設定）

設定方法の詳細は（⇒ P48 ⑦）

リモコンの使用方法

電波特性（電波飛距離について）

- 鉄筋コンクリートの壁や、トタン等電気を通す障害物が車とリモコンの間にあると、極端に到達距離が短くなります。（電波が障害物によって反射する）
- 電波は直進しかしません。ただし反射しながら飛ぶ場合があります。車が直接見えていなくてもまわりに反射できそうな壁・建物等があれば届くことがあります。逆に、車との間に障害物があった場合まわりに反射できる壁・建物等がなければ届きません。



- リモコンを操作する時は、電波送受信の安定性を確保するために、下記のように操作してください。

●アンテナを伸さずに操作すると電波の受信距離が短くなります。

●ケースやアンテナを、手で包み込まないよう操作してください。

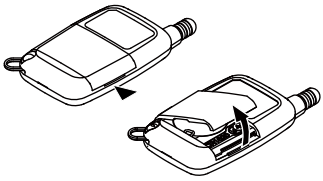
●リモコンは垂直に立てて操作してください。

電池交換のしかた

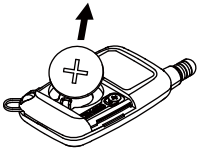
電池は、下図の手順にしたがって、＋／－の向きを間違えないように交換してください。

1）電池カバーを右図矢印の位置からマイナスドライバー等の先の細いものを入れ、右図のように持ち上げます。

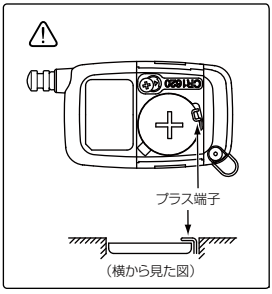
※電池カバーを外す時に、ケースやカバーに傷をつけないよう十分注意してください。



2）電池を右図矢印方向へ外します。新しい電池（CR1620 × 1 個）を入れるときは、逆の手順で行います。



※ 電池を入れる時に右図のように＋端子が電池の上になるように入れてください。



⚠ 注意

- 指定電池（CR1620）以外は使用しないでください。
- 電池寿命の目安は、新品の電池で 1 日 2 回の操作で約半年です。※使用する条件によって異なります。
- 工場出荷時はテスト用の電池をセットしていますので電池自体が自然放電して電池寿命が約半年間を下回る場合があります。

機能設定

ファンクションスイッチ設定について

ファンクションスイッチで下記のような設定にすることが出来ます。
※工場出荷時は全て OFF に設定（下記表太枠内）

No	スイッチの働き	内容	OFF	ON
1	P ポジション検出（※ 1）	P ポジション線の電圧が 0V の車は ON、12V の車と配線しない車は OFF にします。	通常	0V
2	フットブレーキ配線	フットブレーキ配線する場合、ON にします。	配線しない	配線する
3	IG 入力検出の選択（※2）	キー入力の検出が IG2 の車は ON にします。（通常は OFF にします）	IG1（通常）	IG2
4	ディスプレイモード	ディスプレイモードを設定します。	無効（通常）	有効

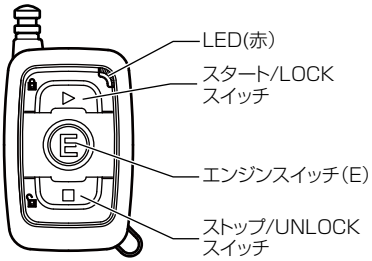
※ 1 一部の車両で本製品をつけることによりエンジンを停止する時に、シフトレバーがⓅ(パーキング)、Ⓝ(ニュートラル)位置以外でキーが OFF まで回りキーが抜けてしまい、ターボタイマー使用時に車両が動きだしてしまう可能性があります。その場合、オプション (Be-963 又は Be-973) 等が必要になる場合があります。また、エンジンを止める時は必ずシフトレバーがⓅ (パーキング) の位置にあることを確認してからエンジンを止め、キーを抜いてください。
※ 2 特殊な場合（一部車両）を除きファンクションスイッチ No.3 を ON する必要はありませんが、下記の場合に ON してください。リモコンでかけた時にセルがまわらず、エンジンが始動しない場合やターボタイマーを使用した場合にキーを抜いてもエンジン停止しない時。

リモコンスイッチでの各種設定内容の変更方法について

リモコンスイッチで下記の設定をすることができます。
①アイドリング時間
②ターボタイマー
③セルストップ方式
④セル延長時間（セルストップ方式をオート設定時のみ有効）
⑤セルストップ時間（セルストップ方式をマニュアル設定時のみ有効）
⑥グロー時間
⑦オートロック
⑧カーテシ検出

⚠ 注意

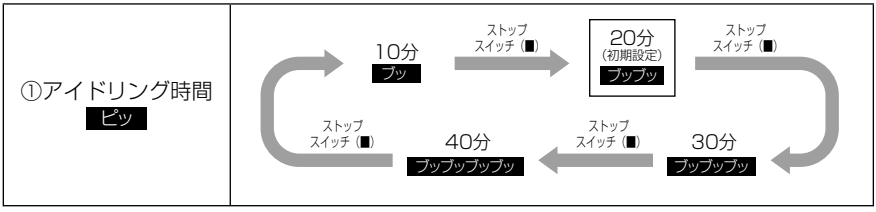
- **設定モード 20 秒間リモコンスイッチの設定操作を行わないと、タイムアウトになり、リモコンからブザー音が「ブー」と鳴って設定モードが終了します。なお、この時に変更した設定内容は全て無効になります。**
- **設定登録の操作を行わないと、変更された設定内容は全て無効になります。**



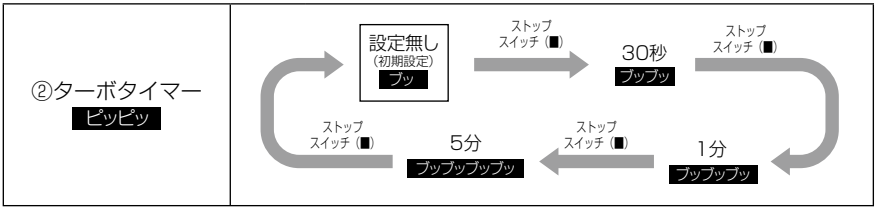
設定開始

エンジンを停止し、キーを抜いた状態でリモコンのエンジンスイッチ（E）とスタートスイッチ（▶）を 5 秒間同時に長押しすると、リモコンからブザー音が「ピッ」と鳴り、設定モードに入ります。

⇩	スタートスイッチ（▶）2 回押し
➡	ストップスイッチ（■）2 回押し



⇩ スタートスイッチ（▶）



⇩ スタートスイッチ（▶）

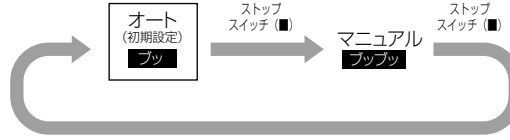
次ページへ

機能設定

前ページのつづき

⇩	スタートスイッチ（▶）2 回押し
➡	ストップスイッチ（■）2 回押し

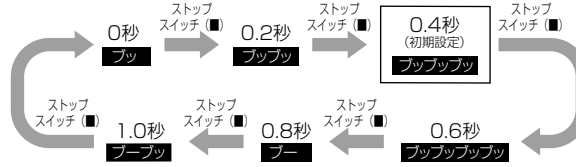
③セルストップ方式
ピッピッピッ



⇩ スタートスイッチ（▶）

④セル延長時間
（オートのみ有効）
ピッピッピッピッ

車両の状態にあったセル時間に設定します。



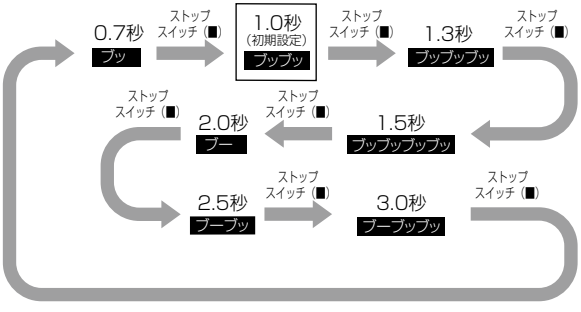
※間違った設定すると、セルモーターの故障につながる恐れがあります。「セル時間の設定について」を参照して、設定してください。（⇒ P51）

⇩ スタートスイッチ（▶）

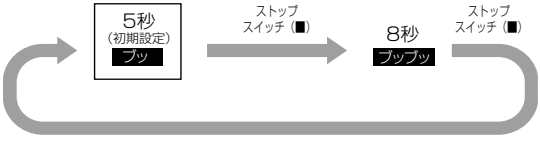
次ページへ

前ページのつづき

⇩	スタートスイッチ（▶）2 回押し
➡	ストップスイッチ（■）2 回押し

⑤セルストップ時間 （マニュアルのみ有効） ピー	セルモーターのひきずりがある場合や、エンジンが始動しにくい場合に設定を変更します。  ※間違った設定すると、セルモーターの故障につながる恐れがあります。「セル時間の設定について」を参照して、設定してください。（⇒ P51）

⇩ スタートスイッチ（▶）

⑥グロー時間※ ピーピッ	IG を ON からセルをスタートさせるまでの時間（グロー時間）を設定します。  ※ガソリン車は 5 秒に設定します。ディーゼル車の一部車両は 8 秒に設定します。 リモコンでエンジン始動して、問題がない場合は、設定の変更は不要です。

⇩ スタートスイッチ（▶）

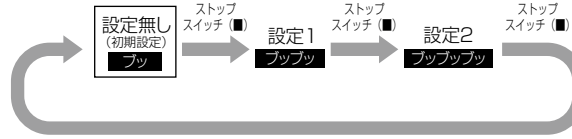
次ページへ

機能設定

前ページのつづき

⇩

⇩	スタートスイッチ（▶）2 回押し
➡	ストップスイッチ（■）2 回押し

⑦オートロック ピーピッピッ	 設定 1…リモコンでドアアンロック後、約 30 秒以内にキーを ON にするか、ドアを開けると、オートロックが解除します。（カーテシ配線が必要です。） 設定 2…リモコンでドアアンロック後、約 30 秒以内にキーを ON にすると、オートロックが解除します。（ドアを開けても、オートロックは解除できません）

⇩ スタートスイッチ（▶）

⑧カーテシ検出 ピーピッピッピッ	 設定 1…リモコンでエンジン始動中、ドアを開けると約 15 秒後にエンジンを停止します。 設定 2…リモコンでエンジン始動中、ドアを開けると即、エンジンを停止します。 ※カーテシ配線を行った場合、車両によりルームランプ点灯中はエンジンを始動することができません。ルームランプが消灯してからエンジンを始動してください。

⇩ スタートスイッチ（▶）

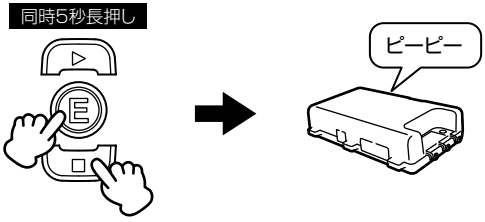
①に戻る

備考：■■■ はメインユニットからのブザー音を示します。

設定登録

リモコンのエンジンスイッチ（E）とストップスイッチ（■）を５秒間同時に長押しすると、メインユニットからブザー音が「ピーピー」と鳴り、設定が登録されます。

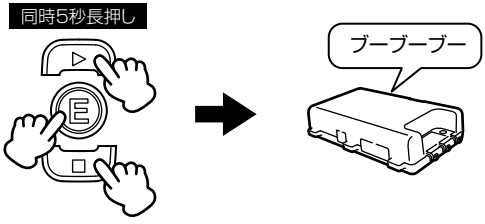
※ 設定を変更した場合は必ず、設定登録を行ってください。設定登録を行わないと内容は変更されません。



オールリセット（初期設定）にする

設定モード状態（⇒ P45）でリモコンのエンジンスイッチ（E）とスタートスイッチ（▶）とストップスイッチ（■）を５秒間同時に長押しすると、メインユニットからブザー音が「ブーブーブー」と鳴り、全ての機能が初期設定になります。

※ エンジンスイッチ（E）とストップスイッチ（■）で設定登録作業をする必要はありません。



機能設定

ターボタイマーについて（初期設定は設定 OFF）

エンジンを始動してから 15 秒以上経過し、キーを OFF にした場合にターボタイマーが作動します。
ターボタイマー時間（アフターアイドリング時間）の設定を下表の 4 段階に変更できます。
設定方法の詳細は（⇒ P45 ②）

ターボタイマー時間
約 0 秒
約 30 秒
約 1 分
約 5 分

※初期設定は設定 OFF

⚠ 注意

- **一部の車両で本製品をつけると、ターボタイマー使用時にシフトレバーが Ⓟ（パーキング）、Ⓝ（ニュートラル）位置以外でキーが OFF まで回りキーが抜けてしまい、車両が動きだしてしまう可能性があります。その場合、オプションの Be-963（カーテシ線・P ポジション線兼用）又は Be-973（シフト検出アダプター）等が必要になる場合があります。また、エンジンを止める時は必ずシフトレバーが Ⓟ（パーキング）の位置にあることを確認してからエンジンを止め、キーを抜いてください。**
- **ターボタイマー作動時に、車のオートライト機能を「AUTO」にしている場合、ターボタイマー作動中はヘッドライトが点灯したままになることがあります。必ずオートライト機能を「OFF」にしてから、ターボタイマーを作動させてください。**

ターボタイマーを停止するには？

ターボタイマー作動中に下記のいずれかの動作を行うとエンジンが停止します。

① フットブレーキ配線を行っている場合、フットブレーキを踏みます。
（⇒ P19）

② リモコンのエンジンスイッチ（E）を押して LED ランプ（赤）が点滅中にストップスイッチ（■）を押します。

③ キーを ACC の位置で約 3 秒以上待ちます。

セル時間（セルストップ方式、セル延長時間、セルストップ時間）の設定について

セルストップ方式の設定をオート又はマニュアルにし、オートはセル延長時間、マニュアルはセルストップ時間を設定することで、エンジンの始動しやすい車両状態に設定できます。
設定方法の詳細は（⇒ P46 ～ 47）

アドバイス

こんなときは

- **エンジンスタートするがセルをひきずる場合**
  セルストップ方式がオートの場合は延長時間を現状の設定より短めに設定し、それでもひきずる場合はセルストップ方式をマニュアルに設定して、セルストップ時間を現状の設定より短めに設定してください。
- **セルしか回らずエンジンがかからない場合**
  セルストップ方式がオートの場合は延長時間を現状の設定より長めに設定し、それでもセルが短い場合はセルストップ方式をマニュアルに設定して、セルストップ時間を現状の設定より長めに設定してください。

付録

オプションについて

本機は以下のオプションを取付け可能です。

品　番	品　名	使用目的
Be-963	カーテシ線	リモコンでエンジン始動時に車両のドアを開けるとエンジンを強制的に停止します。
	P ポジション線	オートロック解除やターボタイマー中にシフトがパーキングの位置にない場合にエンジンを強制的に止めます。 ※ 一部車両で取付けのできない場合があります。
Be-965	BeTime/ 当社別売セキュリティシステム ワイヤレスドアロックアダプター	ドアロック配線の出力信号を 12V 出力方式に反転させます。 ※ 対応車種はハーネス適合表の「ワイヤレスドアロック機能配線方式」欄を参照してください。
Be-966	L 端子検出アダプター	L 端子信号の電圧が低く L 端子検出ができない車両に取付け、L 端子信号の検出を可能にします。
Be-968	アンサーフラッシュリレー	BeTime のリモコンによるロック･アンロック / セキュリティスタート・ストップ時に、車両のハザードなどを点滅させます。 ※ 商品により点滅動作できる機能は異なります。
Be-969	セルカット イモビライザーユニット	BeTime のリモコン操作で車両のセル始動を制御します。
Be-970	ワイヤレスドアロック 配線キット	ワイヤレスドアロック機能の追加可能な商品でワイヤレスドアロック機能を追加する際に、必要になります。
Be-973	シフト検出アダプター	一部ホンダ車でターボタイマー使用時 P（パーキング）以外で鍵が抜けるのを防止します。
Be-974	多重通信ドアロック アダプター	ドアロック信号が多重通信で行われている車両に取付けることにより、本機でのドアロックが可能になります。
Be-975	オートスライド ドアユニット	エンジンスターターのリモコンでの、オートスライドドア（電動式）の開閉が可能となります。（片側のみ）
Be-976	セキュリティアラーム 対応アダプター	エンジンスターターのリモコンでエンジンを始動した時に純正セキュリティが作動（警報）することを防止します。
Be-IL01T, Be-IL02T, Be-IL03T, Be-ILW05T, Be-IL31H, Be-IL32H, Be-IL33H, Be-IL501, Be-IL502, Be-IL503, Be-IL504, Be-IL505, Be-IL506,	イモビ対応アダプター	イモビライザー装備車に取付けることにより BeTime の使用（エンジン始動）が可能になります。 ※ 対応車種はハーネス適合表の「イモビ対応アダプター」欄を参照してください。
Be-IL21N, Be-IL22N, Be-IL23N,	インテリジェントキー 対応ハーネス	インテリジェントキー装備車に取付けることにより BeTime の使用（エンジン始動）が可能になります。 ※ 対応車種はハーネス適合表の「インテリジェントキー対応アダプター」欄を参照してください。

運転するには

本機でエンジンを始動した状態だけでは走行できません。
運転する時は、必ずキーを ON の位置まで回してから走行してください。
※ フットブレーキ配線時は、ブレーキを踏まずに操作してください。
※ 車種によってはフットブレーキにてエンジンを停止してからキーノブを ON の位置まで回し、エンジンを再始動してください。

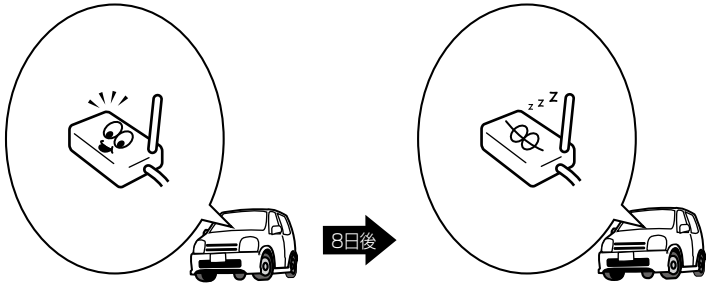
⚠ 注意

- **リモコンでエンジン始動中、キーを START の位置まで回すと、セルモーターが故障するおそれがあるため、必ず ON の位置でキーを止めてください。**
- **リモコンでエンジン始動中、キーを ON の位置まで回さずに ACC の位置で止めると、安全機能が働き、約 3 秒後にエンジンが自動停止します。**

付録

スリープ機能について

- 車を使用しない状態が 8 日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。
- スリープ機能が働くと、本機によるエンジン始動はできません。スリープ機能を解除する時は、1 度キーでエンジンを始動させてください。



- 本機を長期間使用しない時は、リモコンの電池を抜くことをおすすめします。

バッテリーについて

車のバッテリーの性能が低下している時は、キーで始動する場合に比べ、リモコンでのエンジン始動ができにくくなります。このような時はバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

アドバイス

・寒冷地では L 端子配線を接続し、バッテリーも大型のものに交換することをおすすめします。
・車のバッテリー交換を行った場合は再度初期設定および動作確認（⇒ P13 ～ 16）を必ず行ってください。
・車のバッテリー性能・電圧が低下している時は、キーではエンジンが始動できるがリモコンでのエンジン始動ができない場合がございます。気候やバッテリー状態によって異なりますので十分にご注意ください。本体の不良ではございません。

リモコンの ID コードを再登録する

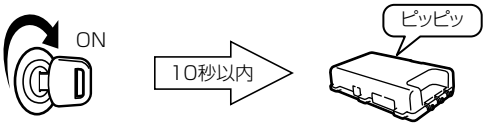
以下の場合に ID コードを再登録してください。

・リモコンを紛失または破損した場合
メインユニットを交換することなく、新しいリモコン（別売) を購入していただき、「ID コード」をメインユニットに再登録することで引き続きご使用いただけます。

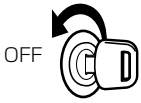
・お客様の車のバッテリーの交換や本機の付け替えなどで、バッテリーや車種別専用ハーネスを取りはずした時に、リモコンでエンジン始動ができなくなった場合

ID コードの再登録方法

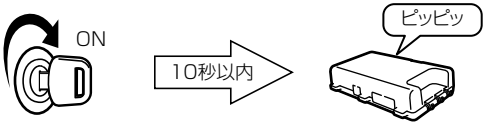
1）キーを OFF の位置から ON の位置まで回してとめてください。
10 秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



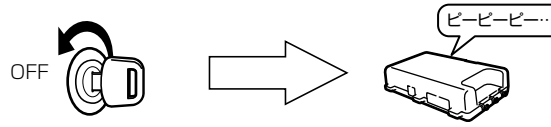
2）1）のブザーが鳴ってから 5 秒以内に、キーを OFF の位置へ回してください。



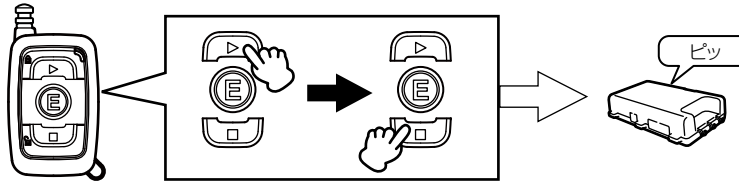
3）キーを OFF の位置へ回してから 5 秒以内に、再度 ON の位置まで回してとめてください。10 秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



4）3）のブザーが鳴ってから5秒以内にキーを再度OFFの位置へ回してください。メインユニットからブザー音が「ピーピーピー…」と10秒間鳴ります。



5）4）のブザーが10秒間鳴っている間に、リモコンのスタートスイッチ（▶）を押して、リモコンのLEDランプ（赤）が点滅している間に、ストップスイッチ（■）を押してください。メインユニットからブザー音が「ピッ」と鳴り、再登録は完了します。



※指定した時間を経過した場合、または順番を間違えた場合はキーでエンジン始動後、初めからやり直してください。

アドバイス

ID コードとは

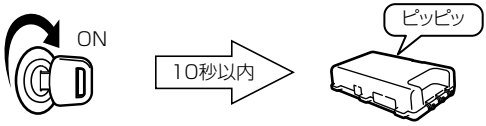
・リモコンにはそれぞれ重複しないように「ID コード」が設定されておりメインユニットの「ID コード」と一致しなければ、エンジンを始動させる事ができないようになっています。
・必ずリモコン・アンテナユニット・メインユニットが全て同一モデルになっていないと ID コードの登録はできません。

リモコンを追加登録する

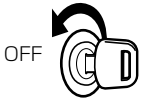
ID コードを追加登録することで付属のリモコン以外に、もう 1 つ SR100 のリモコンを追加して使用することができます。（付属のリモコンを含め合計 2 個まで）当社別売セキュリティシステム（SS-150、S S -350、X 2000、X 7000 等）のリモコンを追加登録して使用することはできません。

ID コードの追加登録方法

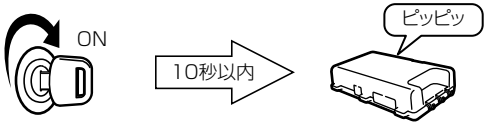
1）キーを OFF の位置から ON の位置まで回してとめてください。10 秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



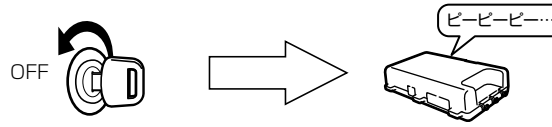
2）1）のブザーが鳴ってから 5 秒以内に、キーを OFF の位置へ回してください。



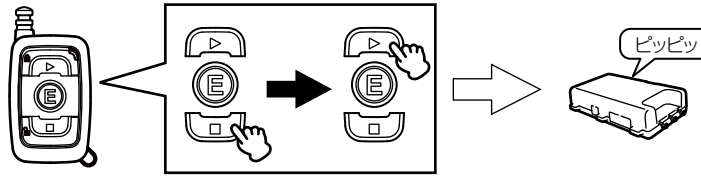
3）キーを OFF の位置へ回してから 5 秒以内に、再度 ON の位置まで回してとめてください。10 秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



4）3）のブザーが鳴ってから5秒以内にキーを再度OFFの位置へ回してください。メインユニットからブザー音が「ピーピーピー…」と10秒間鳴ります。



5）4)のブザーが10秒間鳴っている間に、リモコンのストップスイッチ(■)を押して、リモコンのLEDランプ（赤）が点滅している間に、スタートスイッチ(▶)を押してください。メインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴り、追加登録は完了します。



※指定した時間を経過した場合、または順番を間違えた場合はキーでエンジン始動後、初めからやり直してください。

故障かな？と思ったら

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源が入らない。	・車種別専用ハーネスは車に適合していますか？	・適合した専用ハーネスをご使用ください。	―
	・車種別専用ハーネスは確実に接続されていますか？	・確実に接続してください。	P8 ～ 12
	・アース端子は接続されていますか？	・アース端子をボディアースへ確実に接続してください。	P11
	・リモコンの電池が消耗していませんか？（電池電圧容量が低下）	・新しい電池と交換してください。	P43
	・リモコンの LED ランプは点滅しますか？	・電池カバーをしっかりはめて電池の導通をさせてください。	P43
	・メインユニットのヒューズ（30A）が切れていませんか？	・専用ハーネス等配線のショートが考えられます。配線を再確認後、市販のヒューズ（30A）交換をしてください。	P34
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源は入る。	・車種別専用ハーネスは車両に適合していますか？	・適合した専用ハーネスをご使用ください。	P9
	・車種別専用ハーネスは確実に接続されていますか？	・確実に接続してください。	P9 ／ P12
	・本体からアンテナが抜けていませんか？	・アンテナを本体に接続してください。	P10
	・バッテリー交換後、動作不良エラー No.4（車両情報未検出エラー）のブザー音が「ブッブッブッブッ」と鳴っていませんか？	・バッテリーを外した場合は、必ず、初期設定および動作確認を行ってください。	P13 ～ 16
	・車両側のイグニッション電源は作動しますか？セルモーターは作動しますか？ ・初期設定および動作確認は全て終了し、ブザー音の確認もできましたか？	・メインユニットの ID コードが消失している可能性があるため、ID コードを再登録（⇒ P55 ～ 56）し、初期設定および動作確認を行ってください。必ず初期設定を行わないと本機は動作しません。	P13 ～ 16
	・何らかの動作不良エラーのブザー音が鳴りますか？	・動作不良エラー確認表を参照し、初期設定および動作確認を行ってください。	P36 ～ 37
	・イモビライザー装着車ですか？	・イモビ対応アダプター適合可能な場合は、イモビ対応アダプターを取付けてください。	P52

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
リモコンでエンジン始動するが、設定時間よりも先にエンジンが停止してしまう。	・アイドリング時間の設定は確実ですか？	・「機能設定」を参照しながら、アイドリング時間を変更し、設定登録をしてください。	P45 ～ 49
	・アース端子は確実に接続されていますか？	・アース端子が確実にアースポイントに、接続されているかを確認してください。	P11
	・リモコンでエンジン始動中、キーを入れて、ACC の位置で止めていませんか？	・正常です。 ACC 検出機能が働いて、エンジンを停止します。（ACC 検出エラー音が鳴ります）	P36
ターボタイマーが作動しない。（ACC 電源も切れる）	・ターボタイマー機能が設定されていますか？（初期設定は設定 OFF）	・「機能設定」を参照しながら、ターボタイマー時間を変更し、設定登録をしてください。	P45 ～ 49
	・エンジン始動後、15 秒以内にキーを OFF にしていませんか？	・エンジン始動後、15 秒以上経過してから、キーを OFF にしてください	―
	・動作不良エラー No.1（フットブレーキ検出エラー）のブザー音が「ブー、ブー」と鳴っていませんか？	・フットブレーキ検出が正常の場合、キーを OFF する時に、約 5 秒以上フットブレーキを踏んでいる可能性があります。（キーを　OFF する時は、約 5 秒以上フットブレーキを踏まないでください。）	P19/36
リモコンで操作できる距離が極端に短い。	・リモコンのアンテナは伸ばしてありますか？	・リモコンのアンテナを伸ばしてください。	P42
	・リモコンを手等で包みこんでいませんか？	・リモコンを正しく操作してください。	P42
	・リモコンと車の間に遮蔽物がありませんか？（金属・鉄筋コンクリート・トタン壁等）	・遮蔽物の少ない場所へ移動してください。（「電波の到飛距離について」を参照） ※ 電気の流れる材質は、電波を通しにくいです。	P42
	・リモコンの電池が消耗していませんか？	・新しい電池と交換してください。	P43

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
エンジンが始動しない。	・バッテリーを交換しましたか？ ・本機の付け替えをしましたか？ ・車種別専用ハーネスを外しましたか？	・ID コードを再登録（⇒ P55 ～ 57）し、初期設定および動作確認を行ってください。 必ず初期設定を行わないと本機は作動しません。	P13 ～ 16
	・リトライをしていませんか？	・イモビ／インテリジェントキー装着車の場合イモビ／インテリジェントキー対応アダプター適合可能な場合はイモビ／インテリジェントキー対応アダプターを取付けてください。	P52
		・セル始動方式および、セル延長時間、セルストップ時間の確認をおこなってください。 ・L 端子配線はエンジン始動するが止めてしまう場合に配線してください。	P20 ～ 22
	・気温は低くないですか？	・気温が低いとエンジン自体のかかりが悪いため、セル時間の設定を少し長めに設定してください。 ・セル延長時間を現状の設定より、長くしてください。	P45 ～ 49
初めはエンジン始動していたが後日エンジン始動ができなくなった。	・動作不良エラー No.2（P.N 検出エラー）のブザー音が「ブーブーブーブー、ブーブーブーブー」と鳴っていませんか？	・一部車両によっては P.N 検出がうまく行えずエラーが出る場合があります。フットブレーキ配線を行ってください。	P36
その他	・動作が不安定	・アース端子を別の場所へ取り直してください。	P11

付録

アフターサービスについて

取付けには専門知識が必要です。取付けはお買い上げの販売店又は、カーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身での取付けサポートは行っていません。お客様ご自身で取付けられた場合は、保証が受けられません。

保証書

・保証書は、必ず「販売店名・購入年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
・保証書に販売店名、購入年月日を証明するものが無いものは保証対象外とさせて頂きます。

保証期間

ご購入日から 3 年間です。対象部分：メインユニット・アンテナユニット（リモコンは 1 年間）
※ 但し、付属品等の消耗品は除く。

修理を依頼されるとき

「初期設定および動作確認」(⇒ P13 ～ 16) と「故障かな？と思ったら」(⇒ P59 ～ 61) 相談いただき故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

・保証期間内の場合
恐れ入りますが、取付け販売店に保証書をそえて、製品をご持参ください。保証規定に従って修理いたします。
・保証期間が経過している場合
取付け販売店にまずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
・本製品の故障による代替品の貸出しは弊社では一切行っておりません。
・本製品の取付け・取外し等にかかる全ての費用は一切負担致しません。

アフターサービス等について

アフターサービス等についてご不明な点は販売店にお問い合わせください。

リモコンを紛失または破損

・リモコンを紛失や破損した時は、販売店にお問い合わせください。
・新しいリモコン（オープン価格）を購入された場合は、「ID コードの再登録」をご覧いただき、ID コードの再登録を行ってください。（⇒ P55 ～ 57）

本書にしたがって、正常な取付け・接続・使用状態で製品に故障が生じた場合は、「保証書」の保証規定にしたがって修理いたします。ただし、上記以外の取付け・接続・使用状態による車の故障や事故等の付随的傷害・損害の保証については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

製品仕様

リモコン

技術基準	RCR 標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	426MHz 帯
識別 ID コード	1000 万種
送信出力	1mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	± 4ppm 以内
周波数偏位	± 2.5KHz 以内
送信時間	3 秒以内
送信休止時間	2 秒以上
送信アンテナ	内蔵ロッドアンテナ
動作温度範囲	− 20℃〜+ 60℃
使用電池	リチウム電池　CR1620 × 1
ケース寸法	28（W）× 44（H）× 9.8（D）mm （アンテナ部、突起部除く）
重量	13.5g（電池含む）

メインユニット

受信周波数	426MH z 帯
受信感度	− 116dBm（25℃）で安定動作
局発安定度	± 4ppm 以内
動作温度範囲	− 20℃〜+ 70℃
電源電圧	12V 車専用（DC8V 〜 16V）
消費電流	待機時　10mA 以下（平均）
リレー容量・個数	30A（IG1） 20A × 4（IG2/ACC/ST1/ST2）
ケース寸法	67（W）× 115（H）× 28（D）mm
重量	268g（コネクター / コード含む）

アンテナユニット

受信アンテナ	ヘリカル式アンテナ
コードの長さ	約 1.2 m
寸法	40（W）× 12（H）× 24（D）mm
重量	33g（コード含む）